



議会だより

特別号

まいばら

米原市議会に関するアンケート 調査結果報告（概要版）

特別号 第5号

平成24年2月23日発行

発行
滋賀県米原市議会
議会改革特別委員会
発行責任者 堀川弥二郎

議会改革特別委員会で、アンケート調査結果について検証



昨年12月9日から今年1月10日にかけて実施しました「米原市議会に関するアンケート調査」の結果について、その概要を市民の皆さんにお知らせします。

また、詳細は市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

米原市HP⇒市議会⇒米原市議会に関するアンケート調査結果

目次

1. 調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
2. 調査結果（概要）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 3
【設問に対する回答結果】	
【1】市議会への関心の度合い	
【2】「市議会だより」の読まれ度合いの状況	
【3】市議会の情報の入手先（複数回答）	
【4】市議会の傍聴・視聴の度合い（複数回答）	
【5】市民から市議会議員への意見、要望等の伝達状況	
【6】市議会への市民の声の反映度合い	
【7】【6】で反映されていない理由は何か（複数回答）	
【8】市議会に何を求められるのか（複数回答）	
【9】議員定数についての意識	
【10】議員報酬についての意識	
【11】政務調査費について知っておられますか	
【12】政務調査費の額についての意識	
【13】議会改革に対する評価についての意識	
【14】自由記述の概要	
3.まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 9
アンケート調査を実施したことによりわかったこと	
アンケートを終えてみてきたこと	
おわりに	

1. 調査の概要

【調査の目的】

米原市議会では、平成23年第3回定例会において議会改革の推進を目的に「議会改革特別委員会」を設置しました。

今回の調査は、市民の皆さんの市議会に関する意識を調査し、ご意見をうかがい、今後の具体的な改革の指針とすることを目的に実施しました。

【調査の概要】

調査区域：米原市全域

調査対象：20歳以上の市民から3,000人を無作為抽出

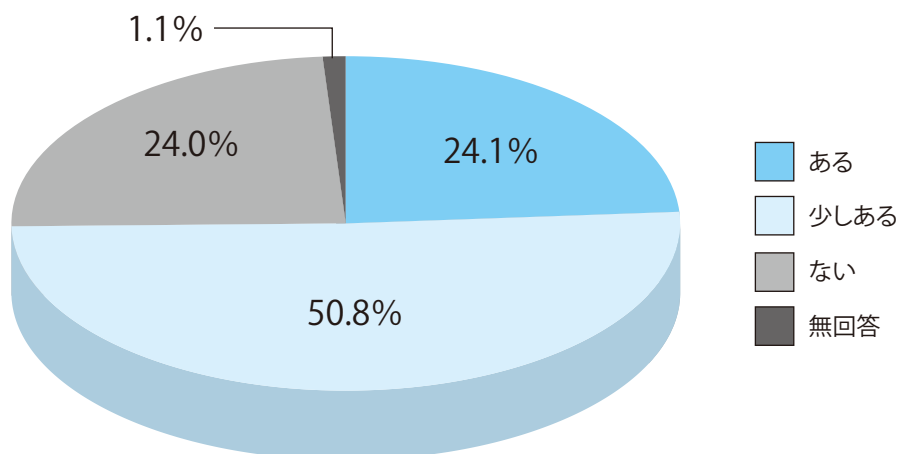
調査時期：平成23年12月9日～平成24年1月10日

回答率：46.2%（1,385人）

2. 調査結果（概要）

【1】市議会への関心の度合い

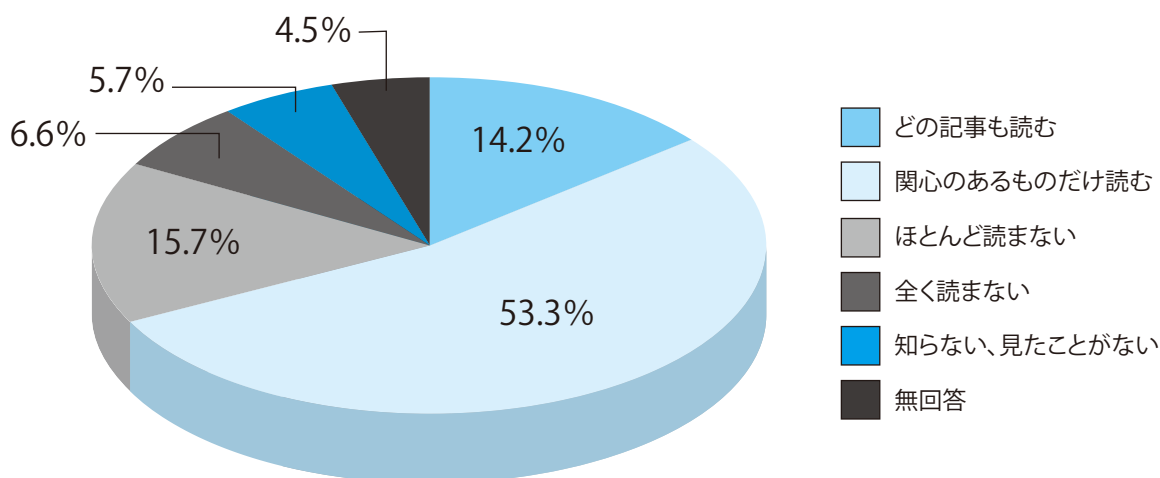
「あなたは市議会に関心がありますか」との問いに対し、「関心がある」と答えた方は24.1%、「少し関心がある」と答えた方は50.8%となり、約75%（74.9%）の方が何らかの関心をお持ちであるという結果でした。また、これを年齢層ごとにみると、20歳代が43.4%、30歳代が58.1%、40歳代が67.4%、50歳代が79.5%、60歳代が87.0%、70歳以上が82.2%と、年齢が上がるにつれて関心が高くなるという結果でした。また、年齢が下がるほど市議会への関心は薄れる傾向にあるという結果でした。



【2】「市議会だより」の読まれ度合いの状況

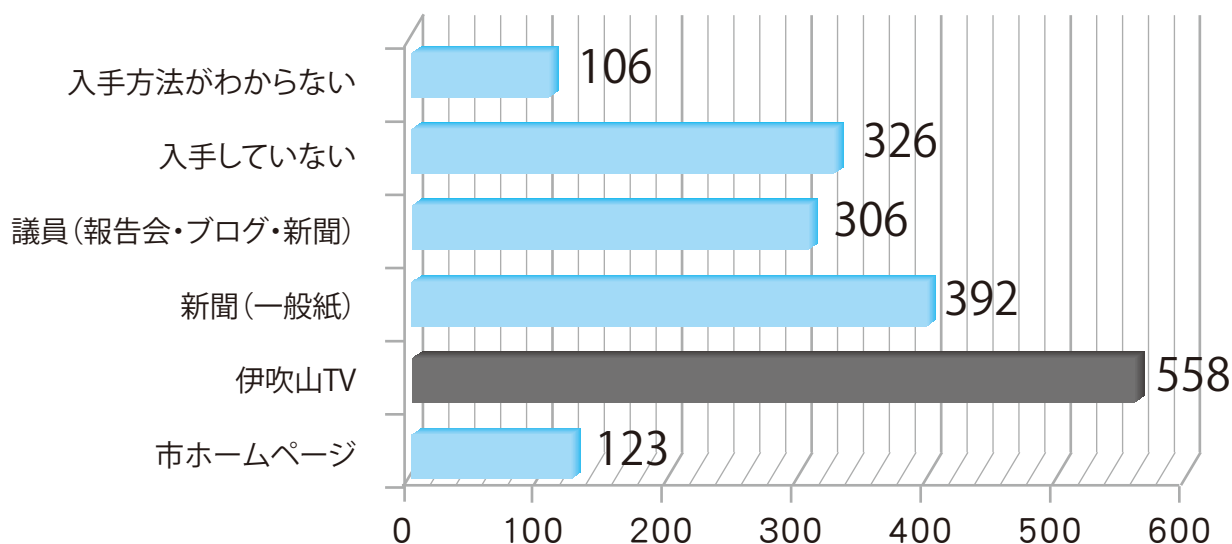
「あなたは市議会だよりを読んだことがありますか」との問いに対し「どの記事も読む」と答えた方は14.2%、「関心のあるものだけ読む」と答えた方は53.3%であり、約7割（67.5%）の方が何らかの形で市議会だよりを読んでおられるという結果でした。これを年齢層ごとにみると、20歳代が45.9%、30歳代が47.1%、40歳代が61.8%、50歳代が69.9%、60歳代が81.7%、70歳以上が77.9%という結果でした。市議会への関心度合い同様に年齢が上がるごとに議会だよりを読まれる方が増加し、年齢が下がるごとに読む度合いが低くなる傾向にあるという結果でした。

また、特に20歳代では、市議会だよりを「知らない・まったく見たことがない」と答えた方が30.0%おられました。



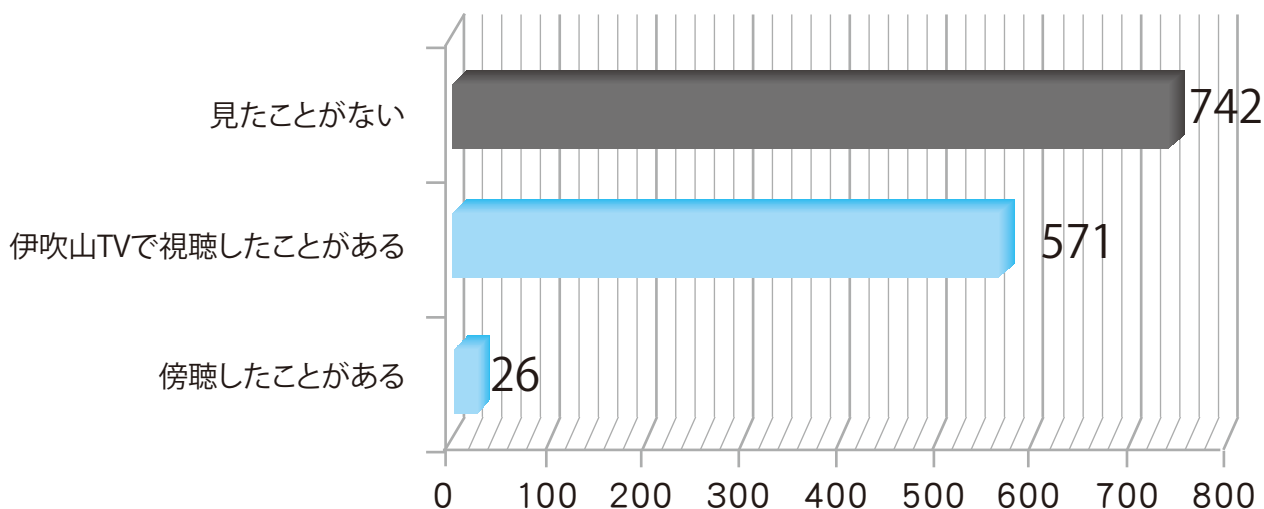
【3】市議会の情報の入手先（複数回答）

「あなたは市議会の情報をどこから入手されていますか」との問いに対し「伊吹山TV」と答え方が最も多い結果でした。これを年齢層ごとにみると、20歳代、30歳代、40歳代では「市議会の情報を入手していない」と答え方が最も多く、50歳代から「伊吹山TV」と答える方が最も多いという結果でした。また、50歳代から「議員（報告会・ブログ・新聞）」という回答が増えてくる傾向にあるという結果でした。



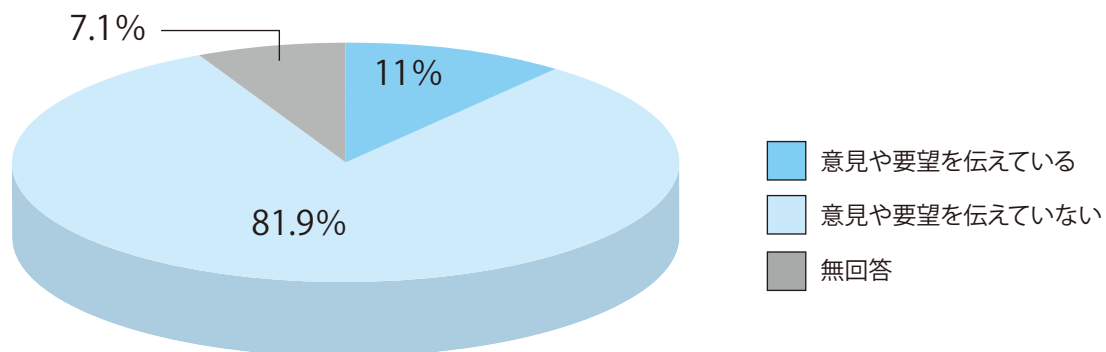
【4】市議会の傍聴・視聴の度合い（複数回答）

「あなたは市議会の会議などを見たことがありますか」との問いに対し、全体では「見たことがない」と答え方が最も多く、次いで「伊吹山TVで視聴したことがある」と答え方の順でした。これを年齢層ごとにみると、20歳代から50歳代までは「見たことがない」と答え方が最も多く、60歳代から上の年齢層では「伊吹山TVで視聴したことがある」との回答が多くなる結果でした。また、市議会を「傍聴したことがある」と答え方は全体の1.9%という結果でした。

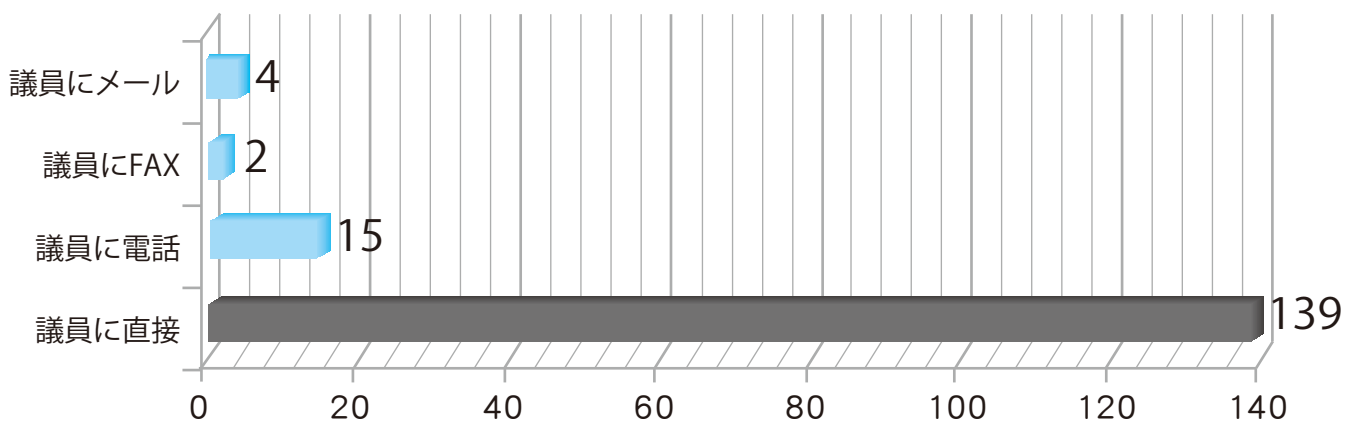


【5】市民から市議会議員への意見、要望等の伝達状況

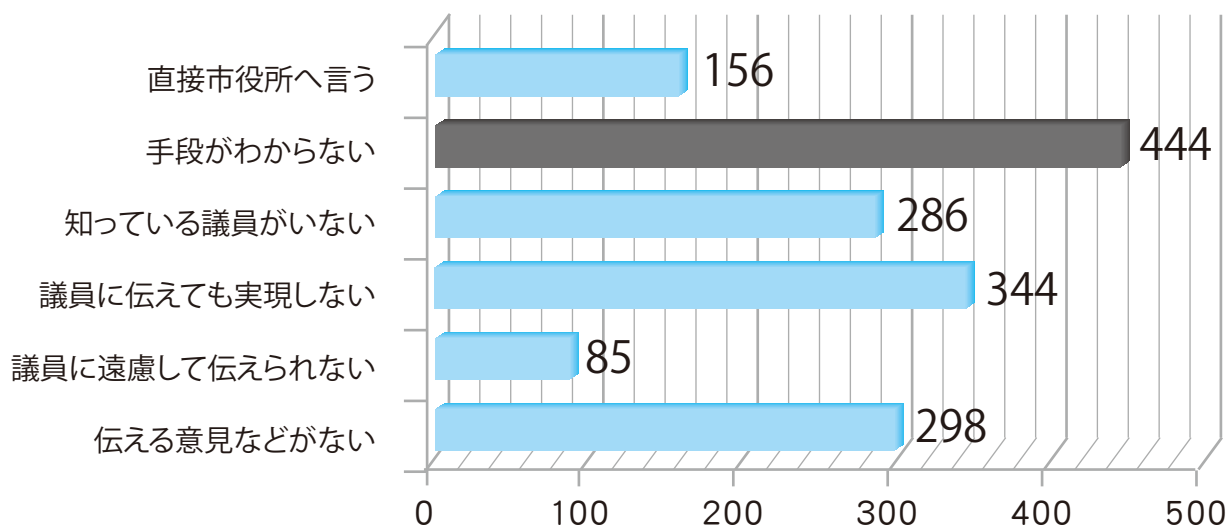
「あなたは市議会議員に自分の意見や要望を伝えていますか」との問いに対し「伝えている」と答えた方は11.0%で、「伝えていない」と答えた方は81.9%でした。



(1) 伝えている方に対し、その手段についてお尋ねしたところ最も多かった答えが「議員に直接」でした。

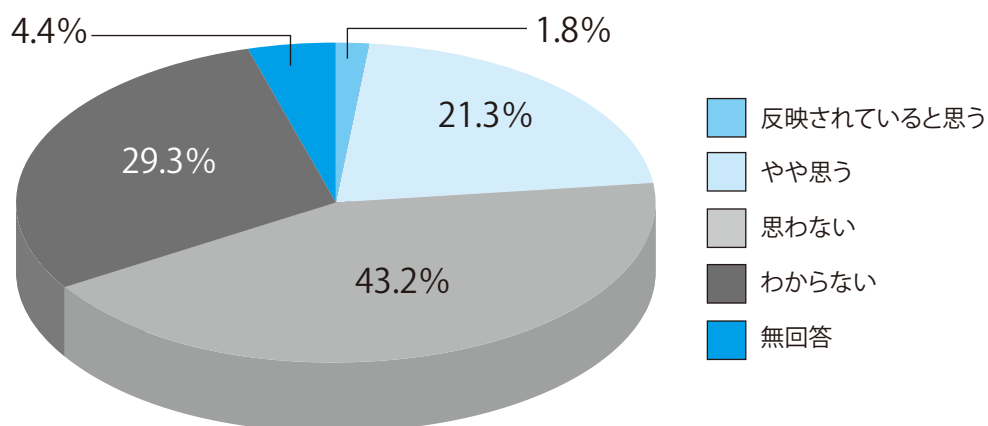


(2) 伝えていない方に対し、その理由をお尋ねしたところ最も多かった答えが「手段がわからない」でした。次いで「議員に伝えても実現しない」の順でした。



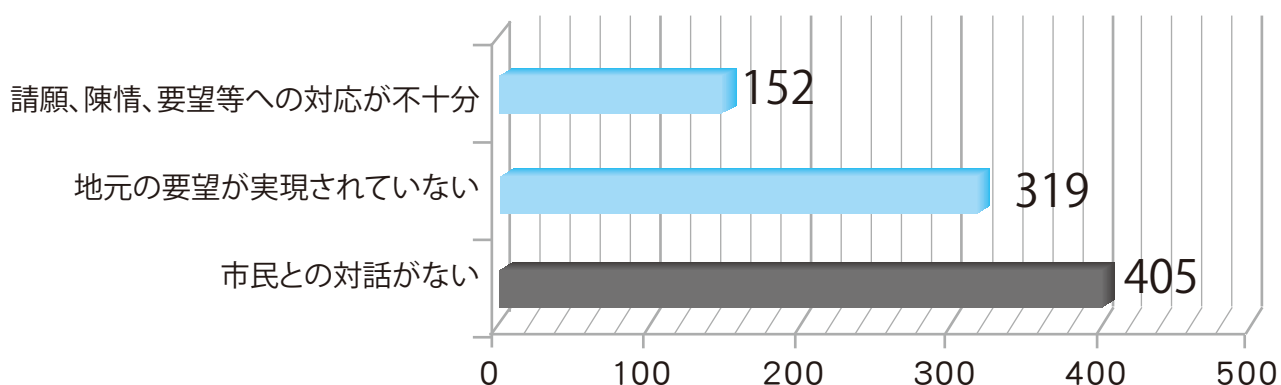
【6】市議会への市民の声の反映度合い

「あなたは市民の声が市議会に反映されていると思いますか」との問いに対し「反映されていると思う」と答えた方は1.8%で、「やや思う」と答えた方は21.3%でした。「思わない」と答えた方は43.2%であり、全体の約半数近くの方が、市民の声が市議会に反映されていないとの回答でした。



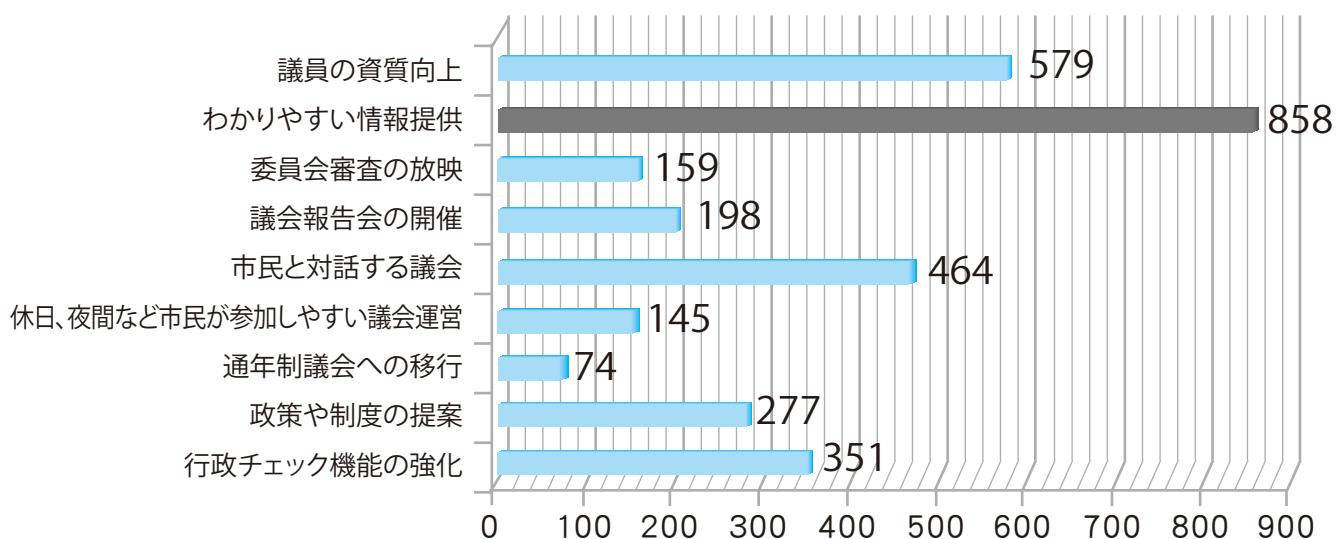
【7】【6】で反映されていない理由は何か（複数回答）

反映されていない理由に関し最も多かったのは「市民との対話がない」との回答でした。次いで「地元の要望が実現されていない」の順でした。



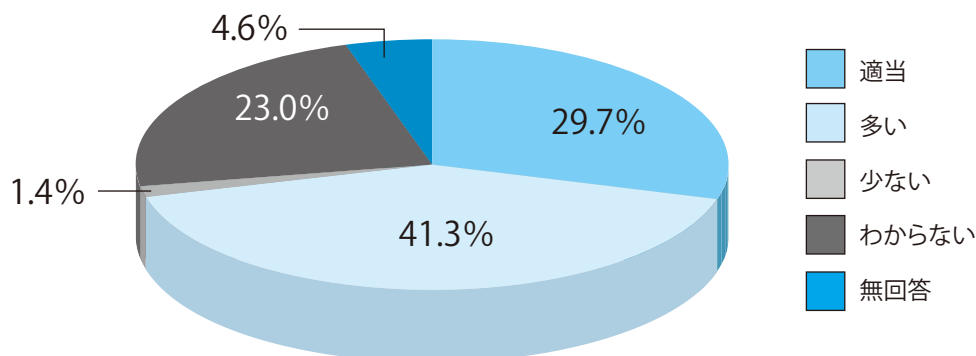
【8】市議会に何を求められるのか（複数回答）

「あなたは市議会に何を求めますか」との問いに対し最も多い回答は「わかりやすい情報提供」でした。次いで「議員の資質の向上」の順でした。



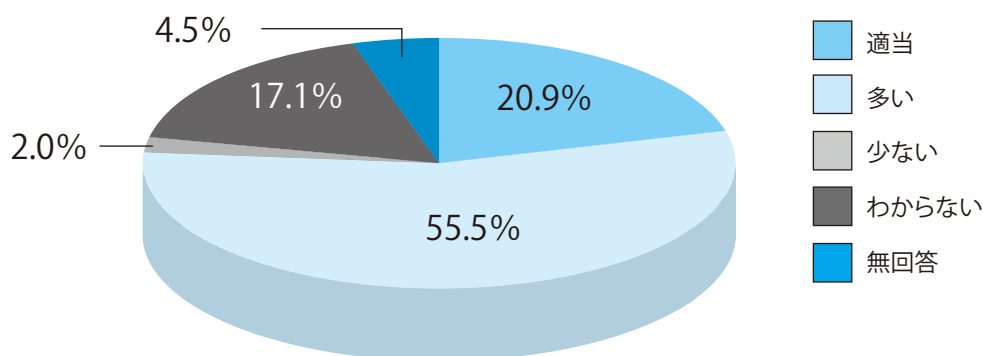
【9】議員定数についての意識

「現在議員定数は20人ですが、これについてどう思われますか」との問いに対し「適当」と答えた方は29.7%、「多い」と答えた方は41.3%でした。また「わからない」と答えた方は、23.0%でした。



【10】議員報酬についての意識

現在の議員報酬は月30万円（ただし、現在10%カットにつき、27万円）ですが、これについての問いに対し、「適当」と答えた方は20.9%、「多い」と答えた方は55.5%でした。また「わからない」と答えた方は17.1%でした。

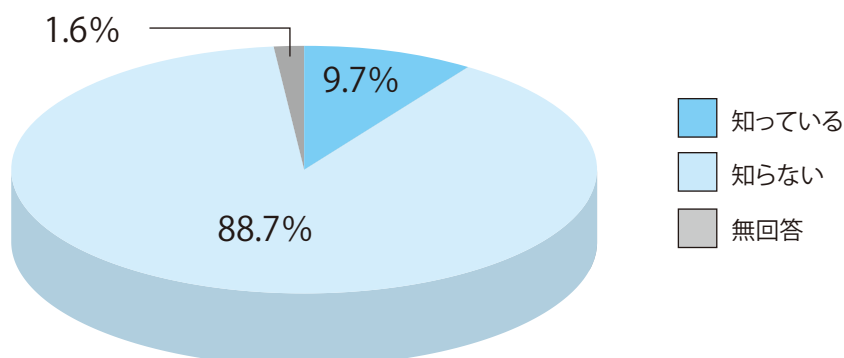


【11】政務調査費について知っておられますか

「あなたは政務調査費が議員一人当たり月1万円支給されていることをご存じですか」との問いに対し、9割近く（88.7%）の方が知らなかったと答えました。

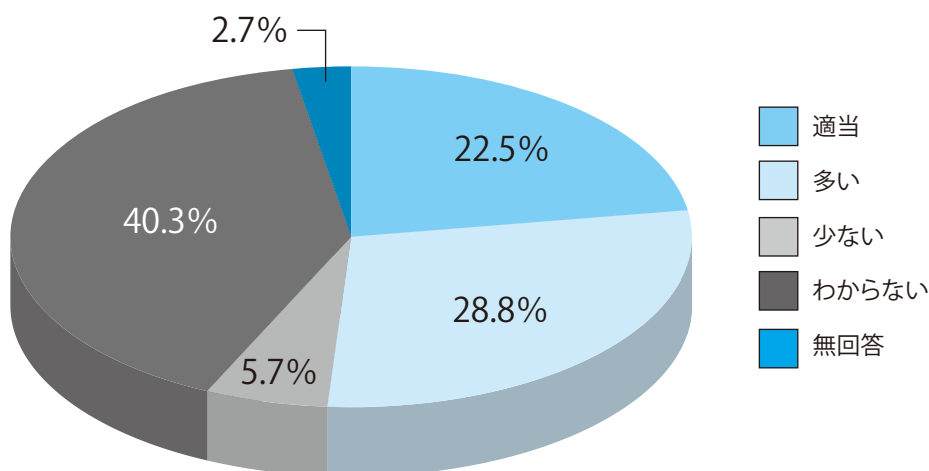
政務調査費とは、法律および条例の規定に基づき、会派および議員の調査研究に資するため、必要な経費の一部として交付されるものです。

議員は、これにより他自治体の政策等について実地に調査研究し、本市の政策に対する評価および提言に活かすことができます。また、議会における活動をとおりて市政の動向等を積極的に市民の皆様が発信するなどの活動を行うことができます。



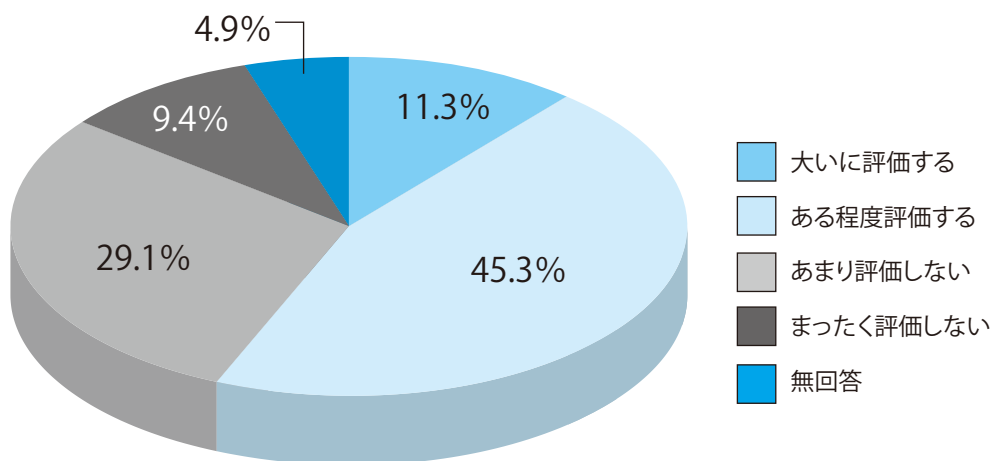
【12】 政務調査の額についての意識

「政務調査費の額に関しどうお考えになりますか」との問いに対し、「適当」と答えた方は22.5%、「多い」と答えた方は28.8%でした。また、「わからない」と答えた方は40.3%でした。



【13】 議会改革に対する評価についての意識

本市議会は、市民に開かれた議会をめざし現在議会改革に向け、議会改革特別委員会を設置し議論を進めています。このことについてどのように評価されますかとの問いに対し、「大いに評価する」と答えた方は11.3%、「ある程度評価する」と答えた方は45.3%で、約半数以上の方がおおむね評価していただいているという結果でした。



【14】 自由記述の概要

今回のアンケートに伴い、市議会へのご意見やご要望を記述いただく欄を設けました。延べ436人の方にご意見をいただきました。

その内容をいくつかの項目に分類、整理した結果、意見の多かった上位5項目は「議会や議員に対する苦言」「市政に対する個別の要望」「議会や議員に対する励まし、要望」「情報発信や情報公開、広聴機能の拡充を図る」「議員報酬に関すること」という結果でした。

市民の皆さんからいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の議会改革で議論していきたいと思っています。

まとめ

【アンケート調査を実施したことによりわかったこと】

- アンケート調査の回答率から、市民の皆さんの市議会に関する関心は非常に高いということがわかりました。
- 市議会への関心の度合いについて、若年層ほど関心が薄まる傾向にあるものの、全体としては約75%の方が市議会に関し何らかの関心を持たれていることがわかりました。
- 議会だよりは、市議会の情報発信ツールの一つですが、若年層ほど市議会だよりを読む度合いが低くなる傾向にあります。しかし、全体としては約7割近くの方が市議会だよりを読んでいます。このことから、市議会だよりは市議会の重要な情報発信ツールであることが確認できました。
- 市議会に関する情報の入手先として、「伊吹山TV」という答えが最も多く、市議会の伊吹山TVによる生中継には大きな効果があることがわかりました。
- 議会改革に関する問いで、半数以上の方が関心を持っていたということがわかりました。

【アンケートを終えてみえてきたこと】

- 市議会に関する関心の度合いが若年層ほど低い
- 市議会だよりを読む度合いが若年層ほど低い
- 市議会に関する情報の入手に対する意識が若年層ほど低い
- 若年層では議員との接点が少ない
- 市議会を見たことがないと答えた方が多い
- 市民の意見等が市議会議員に伝わっていない
- 市議会に市民の声が反映されていないと答えた方が多い
- 議会、議員の活動が市民に浸透していないのではないかと
- 議員定数は多いと答えた方が半数近くを占めた
- 議員報酬は多いと答えた方が半数以上を占めた
- 政務調査費について知らなかったと答えた方が約9割を占めた

【おわりに】

今回の市議会に関するアンケート調査は、市民の皆さんが市議会と議員に対しどのように考え、何を望んでおられるのか、率直なご意見等を把握するとともに、今、本議会が取り組んでおります議会改革の参考とすべく実施いたしました。

市民の皆さんのなかから3,000人の方を無作為に抽出し実施いたしましたところ、締切日までに1,385人の方にご回答をいただきました。回答率が46.2%に達し、また、436人の方から自由記述欄へのご意見をいただきました。議会に対する潜在的な関心の高さに議員一同身の引き締まる思いであります。

今後は議会改革特別委員会を中心に、今回のアンケート結果の検証や分析を通じ、市民の皆さんが日頃感じておられる議会のあり方や議会として取り組むべき検討課題等を明らかにするなど、本特別委員会で活用していくとともに、市民にわかりやすい、開かれた議会に向けてなお一層努力し、議会改革を進めていきたいと考えております。

最後に、本アンケート調査にご協力いただき、貴重なご意見等をお寄せいただきましたことに対し、厚くお礼申し上げます。



市民に開かれた市議会をめざして！

米原市議会